



気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会

《公式ウェブサイト》 気仙沼市社協 <http://keshakyo.web.fc2.com/>
ボランティアセンター <http://svc.miyagi.jp/dvc/hp/kesennuma>

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051/FAX 0226-31-2052
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番2
TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231/FAX 0226-42-1241
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp



テーマは防災 「ボランティアスクール」開催!

2月25日に松岩公民館にて、防災をテーマにボランティアスクールを開催しました。一般社団法人コミュニティ・4・チルドレンより講師を招き、小中学生の皆さんと市内で活動するボランティアの方々が一緒にポリ袋を使ったサバメシ体験や、耳の不自由な方へ情報を伝える為の筆談体験などを通じて「いざ!」という時に助け合うことの大切さを学びました。

参加された方からは「この体験を活かしたい」などといった声が挙げられ、有意義な1日となったようでした。



新年度のご挨拶

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

会長 齊藤 典夫

市民の皆様におかれましては、日頃より本会の事業運営に対しまして、多大なご支援ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、震災から6年が経過し、産業基盤やインフラの整備等とともに災害公営住宅の建設や集団移転事業も進み多くの方々が入居され、また、新たな地域づくりに皆様に取り組んでおられます。

本会といたしましては、地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間福祉団体として、誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会の実現のために、地域福祉活動計画の着実な実施と、医療、福祉、地域等の多様な組織による地域包括ケア推進協議会の活動計画のアクションプランである、住民参加による見守り、助け合い活動、コミュニティ構築のため、地区社協、民生委員・児童委員、ボランティア等と連携して地域の課題解決のため、小地域福祉ネットワークを基盤とした支援体制の強化を図り、新たなコミュニティ構築への支援に取り組むこととしております。

本年も多くの関係者の皆様の深いご理解を頂き役職員一同引き続き信頼と期待に沿えますように地域と共に事業推進に努めて参ります。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会 平成29年度事業計画

東日本大震災から6年が経過し、災害公営住宅への入居も進み、被災された方々のみならず、地域で生活するすべての方々へのきめ細やかな支援が必要とされています。

このような中、仮設住宅等での生活を余儀なくされている方々への訪問支援を継続しつつ、地域の支え合い活動の充実により、地域住民として安心して生活を送ることができるよう、新たな支援への移行が求められています。

本会では、地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間福祉団体として、「誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会の実現」のため、地域福祉活動計画の着実な実施と医療、福祉、地域等の多様な組織による地域包括ケア推進協議会でのアクションプランの実施に取り組んでまいります。

また、住民参加による見守り、助け合い活動、コミュニティ構築のため、気仙沼市や関係機関、団体と連携・協働し、事業を推進するとともに、介護保険事業や障害者支援事業の安定的な運営に取り組んでまいります。

【重点目標】

1. 地域福祉の推進
2. 介護・福祉活動の拠点の整備・活用
3. 人材確保・育成
4. 組織管理体制の強化
5. 福祉サービス提供における「安心・安全」の確保
6. 各地域における福祉サービスの強化

【主な事業内容】

- 1 法人運営事業
 - ・理事会、評議員会、監査会の開催
 - ・苦情解決責任者及び第三者委員の設置
 - ・評議員選任・解任委員会の適時開催
- 2 地域福祉事業
 - ・地域福祉活動計画の推進
 - ・地区社協活動への支援
 - ・ふれあい相談センター・生活相談所の運営
 - ・小地域福祉活動の推進
 - ・広報紙の発行
 - ・社会福祉大会の開催
 - ・本吉地域福祉まつりの開催
 - ・子育て支援交流事業
 - ・善意銀行の運営
- 3 ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア相談、調整等事業
 - ・各種ボランティア研修会の開催
- 4 福祉教育
 - ・敬老作文コンクール事業
 - ・福祉教育活動費補助金交付事業
- 5 資金貸付等事業
 - ・生活福祉資金・生活安定資金貸付事業
 - ・震災対応資金貸付事業
- 6 援護活動
 - ・火災による被災世帯への援護活動



7 生活支援・障害福祉事業

(1) 在宅障がい者福祉事業

・日常生活自立支援事業

・視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業

(2) 指定障害福祉サービス事業

(3) 地域生活支援事業

8 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

・移送サービス事業

・生活支援型食事サービス事業

・在宅ふれあい型交流事業

・安否確認訪問サービス事業

(2) 老人福祉センターの指定管理

(3) 指定介護保険事業

9 市受託事業

・気仙沼地区応急仮設住宅入居者等

・サポートセンター運営事業

・気仙沼市「絆」再生事業

・地域包括支援センター運営事業

・家族介護者交流事業

・大谷学童保育事業

・気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業

10 団体事務

・市民生委員児童委員協議会

・本吉ブロック民生委員児童委員協議会

・議会連絡協議会

・市共同募金委員会

・市ボランティア連絡会

・市老人クラブ連合会

・本吉町老人クラブ連合会

・本吉地区遺族会

平成29年度 資金収支予算書

(単位：円)

勘定科目		予算額
事業活動による収支	収入	会費収入 8,060,000
		寄付金収入 312,000
		経常経費補助金収入 55,654,000
		受託金収入 234,709,000
		貸付事業収入 317,000
		事業収入 4,131,000
		負担金収入 400,000
		介護保険事業収入 433,284,000
		就労支援事業収入 8,025,000
		障害福祉サービス等事業収入 188,608,000
		受取利息配当金収入 39,000
		その他の収入 2,886,000
	事業活動収入計(1) 936,425,000	
	支出	人件費支出 721,771,000
		事業費支出 151,063,000
		事務費支出 77,267,000
		就労支援事業支出 7,901,000
		貸付事業支出 500,000
		助成金支出 5,384,000
		負担金支出 127,000
		その他の支出 1,877,000
		事業活動支出計(2) 965,890,000
		事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2) ▲ 29,465,000

勘定科目		予算額	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4) 0	
	支出	固定資産取得支出 3,135,000	
		ファイナンス・リース債務の返済支出 4,459,000	
		施設整備等支出計(5) 7,594,000	
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5) ▲ 7,594,000		
	その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入 53,320,000
		事業区分間繰入金収入 6,000	
その他の活動による収入 1,355,000			
その他の活動収入計(7) 54,681,000			
支出		積立資産支出 6,572,000	
事業区分間繰入金支出 6,000			
その他の活動による支出 27,903,000			
その他の活動支出計(8) 34,481,000			
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8) 20,200,000			
予備費支出(10) 0			
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10) ▲ 16,859,000			

前期末支払資金残高(12) 230,405,600
当期末支払資金残高(11) + (12) 213,546,600



はじめよう！ 広めよう！ 小地域福祉活動

～ みんなの ふだんの 暮らしの しあわせのために ～

本会では、誰もが安心して暮らしていける地域を目指し、身近な隣近所で支え合う、「小地域福祉活動」を推進しています。

「小地域福祉活動」は、近隣の方々とつながりづくりです。

隣近所の何げないコミュニケーションから、「ふれあい」「ささえあい」「たすけあい」を広げていきませんか。

本会ではこの活動について、職員がご説明や意見交換に地域等にお伺いいたします。ぜひ本会へご連絡ください。

【連絡・相談先 22-0709】



福祉やボランティアなどについて
の勉強会についてご相談ください。
地域での勉強会の講師として職員
派遣や専門家をご紹介します。

例えば…

- 福祉のことを知りたい。
- ボランティアってどんな活動？
- 介護について学びたい。
- 障がいのある方についての対応について学びたい。
- 小地域福祉活動って何？…など。

【お問合せ】気仙沼市社会福祉協議会 電話 22-0709

喜びを感じられる活動を ～団体・企業の社会貢献活動～

藤田製函店では、冬季の間、社会貢献活動として倉庫に大型のトランポリンとスラックライン(※)を設置して子どもの遊び場を無料で提供しています。

直径5m近い大型のトランポリンは子どもだけでなく、大人も利用可能。思い切り体を動かして楽しめるため、リピーターも多く利用しています。

提供時間は平日と土曜日の13～17時まで、事前予約の方を優先に利用できます。なお、利用期間は5月1日(月)までとなっております、再開は来年の年明け頃を予定しているとのことです。

お問合せは(有)藤田製函店(住所：気仙沼市弁天町1-2-11 TEL 22-1520)まで。

※スラックライン：ベルトを利用した綱渡りのことです。



気仙沼市社協では地元団体・企業による地域貢献活動を応援しています。

社協だよりでは、今月号より地域とともに歩み、地域を支える地域貢献活動を紹介していきます。実際に活動をしている団体・企業の皆様、また「あそこはこんな活動をしている」という情報をお持ちの方は、是非情報をお寄せください。

また、地域貢献活動についての相談も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

お問合せ・連絡先 気仙沼市社協 (22-0709)



はじめまして、これからよろしく

～公営住宅入居者をご招待～

古町3区自治会 高年者交流会

3月12日(日)、古町3区自治会館において古町3区自治会(米津信保会長)主催の「第3回高年者交流会」が開催されました。今回は、気仙沼駅前住宅(先工区)へ入居された高年者の方もご招待し、既存の古町3区高年者の方々と交流の場となりました。

気仙沼駅前住宅の入居は、2棟のうちまだ1棟ですが、古町3区自治会では、「古町に早く慣れて欲しい」、「同じ上地区の住民として顔見知りになり、交流を図りたい」という想いからの招待です。

会では、大正琴の演奏を聴き、その中の一曲「北国の春」の時は、曲にあわせ参加者全員で健康体操を行いました。その後は、昼食をとりながら和やかな雰囲気での交流となり

3月12日(日)、古町3区自治会館において古町3区自治会(米津信保会長)主催の「第3回高年者交流会」が開催されました。今回は、気仙沼駅前住宅(先工区)へ入居された高年者の方



は、2棟のうちまだ1棟ですが、古町3区自治会では、「古町に早く慣れて欲しい」、「同じ上地区の住民として顔見知りになり、交流を図りたい」という想いからの招待です。

会では、大正琴の演奏を聴き、その中の一曲「北国の春」の時は、曲にあわせ参加者全員で健康体操を行いました。その後は、昼食をとりながら和やかな雰囲気での交流となり

住民同士がつながる場

～新たなコミュニティづくり～

四反田区自治会のとりくみ

四反田区自治会(小山正悦会長)は、九条5区の一部と防災集団移転の転入世帯、四反田住宅が新たにひとつの地区となり、平成28年7月30日に設立されました。現在174世帯です。

初めて顔を合わせる住民も多いことから、自治会として、住民同士が知り合い、継続的に交流する場として、定期的な「お茶会・カラオケの集い」、「囲碁将棋・健康マージャンの集い」、また屋外での「グ



健康マージャンの様子

「お茶会・カラオケの集い」、「囲碁将棋・健康マージャンの集い」、また屋外での「グ

初めて顔を合わせる住民も多いことから、自治会として、住民同士が知り合い、継続的に交流する場として、定期的な「お茶会・カラオケの集い」、「囲碁将棋・健康マージャンの集い」、「また屋外での「グ

自治会が設立された昨年度は、まず年配者が集まる場づくりに取り組みました。今年度は、若い役員を中心に子ども達の集まる場の企画や、大川スマイルサポーターに登録しての河川敷定期清掃、また自治会館完成も予定されており、地域全体のコミュニティ推進の基盤が確立される年度になりそうです。

「お茶会・カラオケの集い」、「囲碁将棋・健康マージャンの集い」、「また屋外での「グ



市内全小学校の新入学児童に 防犯ブザーを贈呈

平成28年度に市民の皆様から頂いた善意を活用し、本会「歳末たすけあい募金配分事業」として、平成29年度の市内全小学校の新入学児童に対し、防犯ブザーを贈呈することとし、このほど、市教育委員会齋藤益男教育長に防犯ブザーの贈呈を行いました。

全国各地で子どもが巻き込まれる事件事故が多発している中において、児童の安全安心な環境づくりの一助になればとの思いを込めてお届けいたします。

また、子どもたちが被害者になる事件を防ぐために、地域での日常的な声かけや見守りなど、子どもの安全確保と防犯に向けたご協力もお願いいたします。

備品の貸出を行います

本会では地域や学校等で福祉活動、交流活動を実施する際に福祉用具やレクリエーション教材等の貸出を行っています。

借用をご希望の方はお問合せください。

貸出物品（一例）

- 車イス
- 高齢者疑似体験セット
- レクリエーション用品
- ハンディカラオケ
- 折りたたみテント等



お申込み・お問合せ

気仙沼市社会福祉協議会
電話 22-0709



平成29年度

住民支え合い活動助成事業のご案内

宮城県共同募金会では宮城県民同士による支え合い活動やボランティア活動の輪を広め、人々のつながりや被災地域でのコミュニティ再興に取り組む団体を支援する助成事業を行います。

- 【助 成 対 象】 平成29年度に実施する以下の助け合い活動及びボランティア活動
1 生活支援活動 2 サロン活動 3 季節の行事 4 住民交流事業
- 【対 象 団 体】 宮城県在住者5名以上で構成されている東日本大震災の被災者支援活動及び復興支援活動を行っているボランティアグループやNPO法人等の非営利団体
- 【助成対象期間】 平成29年4月3日～平成30年3月31日
- 【募 集 期 間】 平成29年4月3日より、11月30日まで毎月月末締切により申請を受付けています（県内の助成金総額5,000万円に達した時点で締め切りとなります。）
- 【助 成 金 額】 1団体あたり上限10万円
- 【申 請 方 法】 気仙沼市共同募金委員会窓口に備え付けの申請書、または宮城県共同募金会ホームページからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、気仙沼市共同募金委員会へ持参してください。宮城県共同募金会ホームページ(<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>)
- 【問合せ・提出先】 気仙沼市共同募金委員会（気仙沼市社会福祉協議会内）TEL：22-0709



移送サービス 運転ボランティア募集

寝たきり又は車いすで生活する方などを、リフト付きワゴン車（日産キャラバン）で目的地まで移送を行うボランティアです。

- 移送の範囲は、原則として気仙沼市内です。
- 車両への乗降に係るリフトの操作等はいりますが、利用者への直接的な介助等はいりません。
- 運転手付きでの利用希望があった場合に、半日から1日の活動となります。

【お問合せ】 気仙沼市社会福祉協議会
電話 22-0709

リフト付きワゴン車を 貸し出します

外出先への移動が困難な方に対し、リフト付きワゴン車（日産キャラバン）の貸し出しを行っています。

【対 象】 寝たきり又は車いすで生活する方で、交通手段の確保が困難な状況や他の支援や制度の利用ができない状況の方

【利 用 料】 車両利用料は無料、ただし、返却の際に燃料を満タンにする。

【利用時間】 月曜日から金曜日 午前9時から午後4時
※最大3日間レンタル可能

【お問合せ】 気仙沼市社会福祉協議会
電話 22-0709

老人福祉センター「福寿荘」介護予防事業

健康貯筋トク・とく講座 VIII

参加者募集！

対象者：60歳以上の方ならどなたでも
参加費：100円

お申込み：老人福祉センター「福寿荘」
お問合せ：電話 23-1022

※会場や持ち物なども、お申込みの際にご確認ください。

1年ごとに歳は増えるものの、体力・筋力は減るばかり。そこで、老人福祉センター「福寿荘」では、1年間を通して健康貯筋の講座を開催しています。

4月から6月までの講座内容をお知らせします。

開催予定日	内 容	講 師
4/21・28 (金曜日)	シニア向けヨーガ (10:30～12:00)	千葉瑠美子 先生 (YOGAフィットネスインストラクター)
5/11・18・25 6/1 (木曜日)	レクリエーションダンス (10:30～12:00)	原 祝子 先生 (日本フォークダンス連盟指導員)
6/8・15・22・29 (木曜日)	シニア向けエアロビ (10:30～12:00)	畠山 洋子 先生 (ヘルスケア・ワーカー)

生活福祉資金貸付制度のご案内

本会では、低所得者世帯（東日本大震災での被災世帯も含みます。）、障がい者世帯及び高齢者世帯に対し、宮城県社会福祉協議会の委託により、様々な利用目的に応じた資金の貸付相談を行っています。

無利子または低利子での貸付と必要な相談支援により、経済的自立や生活意欲の助長促進を図ることを目的とした制度です。申込みにあたっては、一定の要件がありますが、お気軽に本会または地区の民生委員児童委員にご相談下さい。

お申込み・お問合せ

気仙沼市社会福祉協議会(市内東新城2-1-2)
貸付相談専用電話 080-5949-7563
(祝日を除く月～金曜日〈午前9時～午後5時〉)

■地域の身近な生活相談所■

本会では、地域で暮らす方々が日常生活上で感じる心配ごとや困りごと、生活の向上に関するあらゆる相談の窓口となる生活相談を行っています。

相談名	ふれあい相談	本吉支所生活相談
相談日	毎週 月、火、水、金曜日 (祝日を除く) ※電話での相談も可能です。	毎週 月曜日 (祝日を除く) ※電話での相談も可能です。
時 間	午前9時30分～ 午後3時	午前9時30分～ 午前11時30分
場 所	市社協 本所 住所：東新城2-1-2 電話：0226-22-0709	市社協 本吉支所 住所：本吉町津谷館岡51-6 電話：0226-42-2231 FAX：0226-42-1241 E-mail moto-sha@kind.ocn.ne.jp
内 容	日常生活の心配ごとや悩みごとなど 相談料：無料（秘密厳守）	



気仙沼の住民の力をつむぐ 日本国際ボランティアセンター紹介



日本国際ボランティアセンター（以下、JVC）は、東日本大震災の発生した2011年3月より気仙沼市で活動しています。

震災当初は市社協の災害ボランティアセンターに協力していましたが、2011年8月より事務所を立ち上げ、主に鹿折地区の生活再建を中心に支援活動を始めました。最初の頃は仮設住宅での自治会づくりや交流会の開催、防災集団移転の支援といった内容の活動を行っていましたが、昨年から鹿折南住宅でのコミュニティ支援に重点を移しており、交流会の開催や自治会設立準備の支援を行っています。

また、浦島地区の地域づくりにも力を入れており、浦島地区振興会にて開催している運動会や写真展といった地域交流行事や県内外から参加者を募る養殖体験ツアーなどにも協力しています。

JVC気仙沼事務所岩田代表からは「今後は、災害公営住宅での自治会設立支援、住民有志で地域に人を呼び込む活動の2つに力を入れて活動を行いたい。復興の主役は地域の住民。地元住民や支援団体が厳しい状況に立たされている中、寄り添い、その時々必要に応じてお手伝いすることによって少しでも生活再建が進んでいけば良い。気仙沼には元々コミュニティの力や自然と向き合う力がある。震災によりうまく繋がらなくなってしまったその力を繋ぎ直す手伝いがしたい。」との言葉がありました。

災害ボランティアセンター 設置運営訓練を開催しました



3月1日、気仙沼市民健康管理センター「すこやか」を会場に災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催しました。

今回は震災後初の取り組みということでグループワークを中心に東日本大震災当時の振り返りと今後、災害が起こったときにどんな取り組みができるのかを検討しました。

●こんな意見が出ました●

- 自治会内で避難訓練を行う。
- 地域ごとのニーズを把握し、地区ごとのボランティアセンターができればいいかも。
- 被災者とボランティアが協働で活動する。
- 近所での助け合い、手伝いができるといい。
- 自分が動けると思ったらまずどこへ行けばいいのか、どこに連絡すればいいのかマニュアルが欲しい。

